

令和5年度 函館大学 一般選抜選抜A日程

『国 語』（解答用紙）

得 点			
	受験番号	氏 名	

※受験番号は算用数字で記入すること。

【1】

問1 (8点)	4					
問2 (8点)	5					
問3 (6点)	A	マーケティング				
問4 (正解6点、 準正解4点)	無意識の欲望 (無意識の心の領域)					
問5 (7点)	B	3				
問6 (各 $5 \times 2 = 10$ 点)	C	欲望	D	消費		
問7 (各 $1 \times 5 = 5$ 点)	a	規定	b	断片	c	誘導
	d	飽和	e	援用		

【2】

解答例1 赤字路線の廃止に賛成の立場

私は、学生Aさんに近い意見です。私は、赤字路線の鉄道は、基本的には廃止するのがよいと考えています。鉄道利用者が減っている原因は、人口減もありますが、住民が自分の車で移動していて、鉄道を使うのは子どもと高齢者だけということだと思います。鉄道をバスで代替する場合でも、Cさんが言うバスの台数は全乗客を同時に輸送する場合であり、そこまでの台数は要しません。バスで代替可能な程度の利用者しかおらず、その線区が廃止されても広域な輸送に影響がない所は、バスのように柔軟に運行できる交通機関に委ねたほうが、地域自治体の負担も軽くなり、住民のためにもなるのではないのでしょうか。(280字)

解答例2 赤字路線の廃止に反対

私は、学生Bさんに近い意見です。私は、赤字であっても、鉄道は廃止すべきではないと考えます。地域住民は駅を中心として意識して生活しています。鉄道が果たしている公共的な役割をもっと重く受け止め、鉄道会社ではなく、地域の自治体が管理・運営してもよいと思います。鉄道があっても地域は衰退してきたとAさんは言いますが、鉄道が地域の衰退を食い止めていたとみるべきです。また、電車や電気機関車などは、大量輸送において環境にやさしいという優れた特性を持っています。私は、鉄道を基本的には廃止すべきではないと考えます。

(250文字)

解答例3 中立

私は、学生Cさんに近い意見です。鉄道がなければ地方の衰退は加速してしまうでしょうが、国全体としての効率や、環境への配慮も必要です。鉄道を維持したいという気持ちもわかりますが、Bさんの意見は鉄道の軌道や架線の維持費を考慮していませんし、非電化路線を電化するコストも莫大です。すべての赤字路線を存続させることはできないので、例えば、貨物輸送の需要が少ない路線は廃止してバスへ転換するなど、大きな方針に基づく判断が必要です。Cさんの話のように、関係する近隣の自治体だけでなく、国やその地方の維持・発展にとって、その鉄道の廃止に問題はないのか、広く議論する必要があります。(282字)